

平成29年度 第3学年 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した課題と工夫	課題を受けた今後の改善策
国語	【課題】 ★相手や目的に応じ、段落相互の関係に注意して文章を書く力を育てたい。 ・相手に応じて、文体や内容を工夫して書くことができるようにする。 ・段落の役割を理解し、考えが明確になるよう、段落相互の関係に注意して書くことができるようにする。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・段落に分けることの意味や利点を明確にして読んだり書いたりできるようにした。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・めあてを明確に示し、ポイントを確認しながら理解を深めた上で取り組む。 E 相互の学び合い ・文章について検討し合ったり、書いた文章を読み合ったりする活動を通して学び合いながら理解できるように学習活動を工夫する。
社会	【課題】 ★地域社会の特色や相互の関係等について考える力や表現する力を育てたい。 ・地図や各種の具体的な資料を効果的に活用できるようにする。 【工夫】 ☆教材の開発と工夫 ・身近な地域の題材を生かし、地図と資料を組み合わせながら指導した。 ☆補助資料の活用 ・電子黒板等のICTを活用し、拡大提示しながら思考に生かせるよう支援した。	B 教材の開発と工夫 ・地域の具体的な資料を用いると同時に、一般化した資料も合わせて指導することで、活用範囲を広げる。 D 補助資料の活用 ・電子黒板で映像資料や写真等を提示するだけでなく、提示資料を説明するなど、表現活動を多く取り入れる。
算数	【課題】 ★数と計算において、意味を理解し、適切に用いる能力を高める。 ・乗法や除法、加法及び減法の計算の仕方を確実にし、適切に活用する。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・この時間に何をどこまで取り組むかを示し、目標をもって取り組ませた。 ☆教材の開発と工夫 ・授業の始めに毎回計算問題を解くことで、練習を積み重ね習熟を図った。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・既習事項と関連させながら、学習の見通しを明確に示し、めあてを達成できるように机間指導を強化する。 B 教材の開発と工夫 ・定着を確認し、理解を促進するために適用問題を吟味し、理解を確実にさせる問題を工夫して取り組ませる。
理科	【課題】 ★自然の事物・現象についての実感を伴った理解を図り、科学的な見方や考え方を養えるようにする。 ・見出した問題について興味・関心をもって追究し、見方や考え方を養う。 【工夫】 ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・児童に身近な現象をもとに、不思議さや疑問を引き出すような導入からめあてを設定するように工夫した。	A 指導目標の明確化と学習の見通し ・児童が不思議に思う導入をさらに工夫すると同時に、自分の考えをもった上で、検証するための実験・観察ができる道筋を身に付けさせる。 E 相互の学び合い ・様々な予想や考えをもとに結果について検証できるよう集団で検討し合える場を意識的に設定する。
体育	【課題】 ★友達と協力しながら、進んで取り組み、規則を守って運動できるようにする。 ・自分の技量の向上だけでなく、友達と高め合える活動ができるようにさせる。 【工夫】 ☆相互の学び合い ・グループを能力別や男女別等目的に合わせて使い分けながら協力して取り組めるように工夫した。	E 相互の学び合い ・自分の動きや友達の動きを比較し、アドバイスし合えるような活動や場の設定、グルーピングを検討し工夫する。 F 評価 ・アドバイスの視点や動きのポイント等を示し、相互評価できるようにする。
今年度の成果と課題 【成果】 ・ ・ 【課題】 ・ ・		